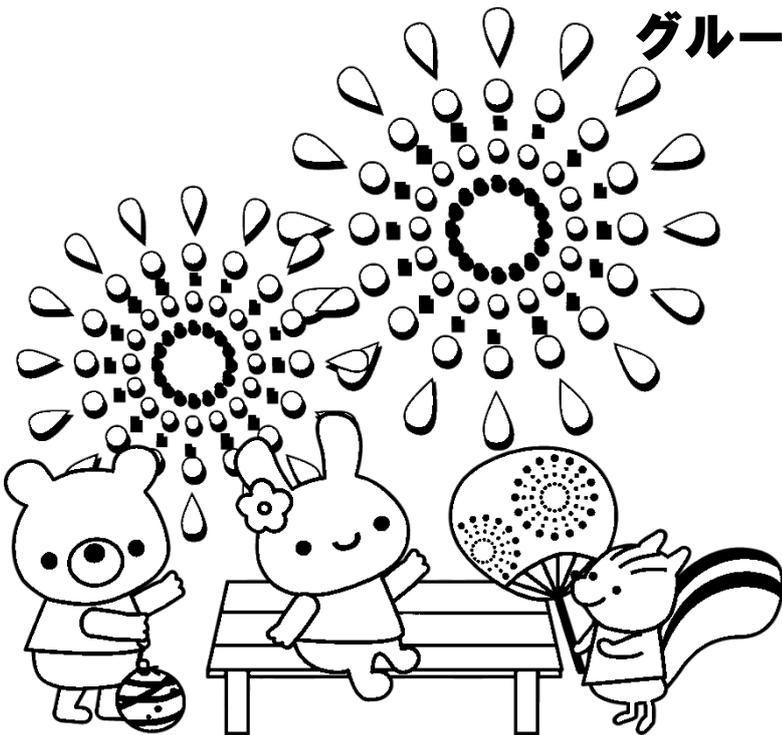


ニーズレター

(2014年 7月号)

グループホームネット 香川



7月

もくじ

- 理 事 長 巻 頭 言 (2)
- 前 理 事 長 あ い さ つ (4)
- 2 0 1 4 年 度 総 会 を 終 え て (5)
- 事 務 局 事 便 り (6)

▼ △ ▼ △ **理事長巻頭言** ▼ △ ▼ △

新理事長 細谷 要一

ごあいさつ

今年度の総会で、内田考理事長の後任としてグループホームネット香川の新理事長を担うことになりました。よろしくお願いいたします。

私自身の古い話からさせていただくと、1974年、病院に精神科ソーシャルワーカーとして就職しました。役割としては、入院、通院の患者さんから依頼される個別ケースワークと、上司である医師やスタッフと共に、病棟問題の改善に取り組むことでした。その中で、入院治療が終了し退院の支援をしていくとき大きな問題となったのは、受入れの家庭に事情があって対応できないといわれる場合や既に自宅が無くなっていたことでした。その他の退院先が見つからず、退院ができなくなってしまうことがありました。アパート退院ができる場合であっても、保証人の問題などで頓挫してしまいました。

20年ほど経過し、それまでに繋がりができた仲間や関係者の方々と、県内を視野に精神障害がある人への支援について話し合う機会をもっていました。そこでは、望まれる支援とは何か、どう考え、どう行動すればよいのかについて議論を重ねていましたが、そこから1996年の香川の精神保健福祉を考える会結成準備に繋がっていきました。以来、役員として長くこの会とつながってきましたが、その後岡山へ通勤することになった関係で、十分な役割が果たせませんでした。その岡山も、昨年度退職したことでこれからは活動がしやすくなりました。

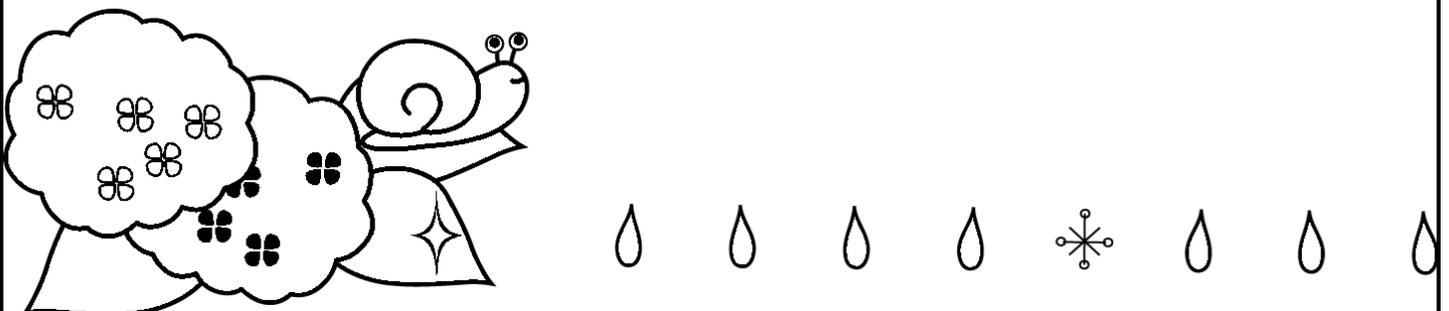
前身の香川の精神保健福祉を考える会が発足した当時は、グループホームは県下に1～2か所しかなく、考える会のメンバーは“社会的入院”に対する地域での受け皿としてグループホームの必要性が高いと考え、「ポストの数ほどグループホームを」のスローガンのもと活動を始めました。それから17年目を迎えた現在、法制度も何度か変わりましたが、県下のグループホームは知的障害者対象も含めて88か所に増え、定員は730人余りになっているようです。しかし、医療機関が設置したものも多く、内容的には、地域といっても病院の近隣にあって、利用者からも“入院を続けているようだ”との声がでたり、

またDP I (障害者インターナショナル) が指摘するように、生活上の制限が多かったり、ひとつの建物に20~30人生活していたりする、“施設化”の問題などが生じています。

退院後の生活を考えたとき、住いをもつことが第一ですが、ただ住むところ(住所)だけでは十分でなく、そこが「自分の家」「自分の棲みか」となることが重要だと思います。そこには、安全で、安心できる生活環境と地域の人々とのかかわりが保障される必要があります。「〇〇から管理されている」のではなく自分自身が管理者、主体者となった生活ができなければなりません。安心して自分主体の生活ができるところに、次の就労や社会的な役割などの希望がでてくるように思います。グループホームネット香川は、当初からそういう考え方をすすめてきていますし、今後もこの方向性は変わらないものと考えています。

折しも、先日(7/1)厚生労働省が「病棟転換型居住系施設」を認める決定をしたとのニュースが流れました。“病院の敷地の中に--病棟をグループホームにできる--”という“改正”です。障害者団体やNPO全国精神障害者地域生活支援協議会(あみ)が強く反対するなかで押し切られました。これで --世界中から桁違いに多いと批判されるOECDの日本の精神病床数グラフが、数値上は下降するでしょう-- しかし、入院する必要のなくなった“社会的入院者”が、病院から出て“地域で暮らす”ということが遠のいてしまうことを危惧します。

日本の精神保健福祉政策の変わらなさを痛切に感じるころですが、逆に、われわれが求める「あたりまえのグループホーム」には大きな意味がでてきます。グループホームネット香川の活動理念に沿い、ニーズをしっかりと確認しながら、みんなの力でグループホームの運営をすすめていきましょう。



▼ △ ▼ △ **前理事長挨拶** ▼ △ ▼ △

前理事長 うちだはかる

ふいかえい

4年の任期を終えて、このたび理事長をおりることとなりました。

任期中は、さまざまな人の力を借りて理事長役を全う出来たというのが正直な気持ちです。任期中、多くの出来事がありました。入居者の方の自殺やホームワーカーの不幸で、入居者の方を傷つけた出来事などです。これらの出来事で痛感してきたのは理事長の責任の取り方でした。私たちグループホームネット香川は、入居者の「いのち」を預かっているということです。そしてそれらの最終責任者は理事長だということです。今後は新たな理事長をサポートして、手を休めることなく、丁寧に活動を重ねていくことです。

またこの度、これまで働いてきた医療分野から引退しました。今後は、一人のソーシャルワーカーとして、何ができるか考え中というところです。

これまでは、職場を中心にして「時間」に追われてきたといえます。朝起きる時間は、職場に合わせたものでした。今起きる「時間」は、自分の一日に合わせてということになります。

このことは初めてのことであり、戸惑いを隠せません。時間を上手く使いこなすことは難しいものです。ウィークデイのまちなかに若者の姿を見るのはまれです。県立図書館なども同様です。「とし」を上手く重ねることは、思った以上に難しいものです。

時間ができたら、思う存分好きなところを旅したいと思っていたが、思うようには事が進まないのが現状。まさに物事は、思うようにはいかないものだ実感しているところです。

まさに予想外のことは起こるものです。さて、ソーシャルワーカーとしてどう生きていくか一呼吸して模索するところです。

▼△▼△ 2014年度総会を終えて ▼△▼△

増田 周作

2014年6月6日(金)に2014年度の定期総会が、行われました。

今年度は、役員改選の年でした。

理事長に細谷要一氏、副理事長に内田考氏、鍋谷健一氏を選任し、新しい体制で今年度から法人運営が行われることとなりました。

今年度の総会での役員を選任においては、事務局の不手際により、ご迷惑をおかけしました。この場を借りて、改めてお詫びを申し上げますと共に、法人の事務局としての役割を再確認し、同じ過ちを繰り返さないように努めたいと思います。

ここ数年続けてきたホームワーカー研修やホームワーカー会議の充実により、入居者が安心して生活できる環境が少しずつ整っていているように感じています。

入院者数が少なくなったのも、その成果であると感じます。

おかげさまで、入居者も定員いっぱいとなり、入居待ちをしていただいている状況でもあります。そろそろ、新たな展開を考える時期なのかもしれません。

事務局が今の体制となって、4年目を迎えます。

4月からは、グループホームとケアホームが一元化され、制度が変わりました。1~2年ごとに少しずつ制度が変更となり、変化についていくのがやっとのところもあります。

しかし、直接的に何か支援を行うことだけが入居者への支援ではなく、安定した法人運営を行うことやホームワーカーへのサポートを行うことで、入居者の生活へ安心と安全をお届けできればと思っています。

今年度も総会が開催され、無事に終了できたことは会員みなさまのおかげです。

今年度もよろしくお願い申し上げます。



▼ △ ▼ △ **事務局便り** ▼ △ ▼ △

岩佐 亜紀

梅雨の蒸し暑さの中、台風速報が気にかかる時季にさしかかりました。会員の皆様には、いかがお過ごしでしょうか。

グループホームネット香川では、今年度も定期総会が開催され、無事に終わることが出来ました。会員の皆様のご協力に心より感謝いたします。事務局では、総会後の諸々の手続きを急いでいるところです。

今年度の総会では、定款にも若干の改変がありました(理事の定員、役員任期)。

また、会員の方のホームページ利用に関して、ネット上のセキュリティ等の問題をクリアするために、初めにお知らせしている会員の方用のアカウントとパスワードを、毎年度初めに更新し、新たにお知らせすることとしました。どうぞよろしくお願いいたします。

GH事業においては、経年の課題としてきたグループホームの増設に向けて、具体的に検討することが事業計画にのぼるまでになってきています。会員の皆様には、今後ともご支援ご協力のほど是非ともよろしくお願い申し上げます。

事務局では年会費の納入をもって、会員状況の把握をしております。同封の振込用紙にて2014年度会費の納入をよろしくお願いいたします!

次年度からは、年度初めに年会費の納付についてご案内し、事務局で確認して会員継続となった方に対してHPの会員ページご利用のご案内を送付させていただきます。

新規会員の加入申し込み、ご寄付も常時受け付けています。ご希望の方は、電話、FAX、郵便、直接振込などの方法で、事務局までご連絡下さい。

事務局の窓口は、平日10時~17時です。

●年会費： 正会員 3,000円 賛助会員 2,000円 です!

●振込先口座： ゆうちょ銀行 01670-4-5576

特定非営利活動法人 グループホームネット香川

(発行) 特定非営利活動法人 **グループホームネット香川**

連絡先： 香川県高松市円座町1124番地6 2階

TEL : 087-885-5270 Fax : 087-887-5955